



～令和7年度第1回コア会議が開催されました～

令和7年8月18日（月）に「公園マネジメント会議 令和7年度第1回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、7団体のコア会員の出席がありました。

コア会議の進め方、チーム制度の活用状況と今後の方向性について説明が行われました。また、2025年度の公園マネジメント会議の取り組みにおいて、それぞれが取り組みたいプロジェクトに分かれて、グループワークにより活発な意見交換が行われました。

会議後、自由参加でチャレンジスペース（ラボハウス周辺と西口エントランス）の現地調査が行われました。



コア会議の進め方について

●2025年度の公園マネジメント会の取り組みにおいて、各取り組みの進め方や活動概要、年間スケジュールについて、事務局より説明がありました。

【2025年度の公園マネジメント会議の取り組み】

- ① 会員アンケートの改良
- ② 会員へのメール送信時のアドレス作成
- ③ PJ1：マネジメント会議及びモリコロパーク内での活動に関するQ&Aの作成
- ④ PJ2：チャレンジスペースの活用1（ラボハウス周辺）
- ⑤ PJ3：チャレンジスペースの活用2（西口エントランス）
- ⑥ コア会議の見える化（一般会員の参加）

チーム制度の活用状況と今後の方向性について

●チーム制度の活用状況と今後の方向性について、事務局より説明がありました。

【制度創設の背景と系譜】

- 令和2年度から発生した新型コロナウイルス感染症拡大やジブリパークの開園に伴う園内整備により、会員の活動が制限されていた。
- 感染症の収束や整備事業の完了による制限緩和に伴い、以前の公園マネジメントの活気を取り戻す取り組みを進めるため、令和4年度第4回コア会議にて承認された令和5年度実施計画において、短期的かつスピード感があり、かつ会員以外とも活動できる新たな実践活動の場づくりとして盛り込まれ、令和5年度第3回コア会議で目的と活動フローが示され、同年試行運用が開始された。
- 令和5年度は、12月からの4か月間を施行期間として運用したが、2チーム・4回と、制度の在り方を議論できるまで活用されなかった。このため、1年間延長したが令和6年度も3チーム・4回と活用回数が少ないため、更に1年間を延長（令和7年度）している。

【今後の方向性】

- 試験運用から見えた成果と課題を整理・検証し、「本格運用（ルールブックに位置付け）」又は「試行運用の継続」「廃止」をコア会議で検討する（検討結果については、総会に諮る）。
- 成果と課題の整理・検証にあたっては、判断に必要な要素などをコア会員で検討し、事務局により制度活用者or全会員に向けたアンケート（状況によって会議開催）を実施する。
- なお、本格運用又は試行運用の継続に際し改善を要す場合は、それらの内容を反映する。

（質疑・意見交換）

- ・参加できない方のために動画配信はどうか。
- ・11月に予定しているサトラボでの収穫イベントについて、マネジメント会議に周知をかけた場合、協力してもらえるのか。→メール等で声をかけてみてはどうか。情報は3ヶ月前には欲しい。

グループワーク

●2025年度の公園マネジメント会議の取り組みにおける以下のプロジェクト1~3について、それぞれが取り組みたいプロジェクトに分かれてグループワークを行いました。

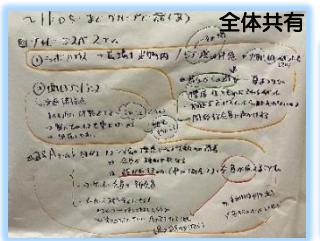
【PJ（プロジェクト）】

- PJ1：マネジメント会議及びモリコロパーク内での活動に関するQ&Aの作成
- PJ2：チャレンジスペースの活用1（ラボハウス周辺）
- PJ3：チャレンジスペースの活用2（西口エントランス）

（グループワーク意見・発表）

【Q&A作成班】

- ・[目的] ①単純なイベント広場として使うためのQ&Aにするのではなく、マネジメント会議の理念に応える活動とは何なのか？にきちんと応えるQ&Aにしたい。②会員さんが活動しやすい・活動したくなるようなQ&Aにするという観点が大事である。手続きの明確化やどこで誰とやるのがいいのか、窓口は誰なのかがきちんとわかるようなQ&Aにしたい。③誰が応えるのかというのをはっきりとしたQ&Aにしたい。内容によっては県や協会が応えることと、会員さんが「この場所は魅力的だよ」と実績や経験で応えることがあるので、それを区別していくのも重要である。
- ・[ターゲット] まずは聞き取りのしやすさも含めて、現会員から進めていきたい。将来的には、新しく入ろうと思っている会員さんがより入りやすくなるためのQ&Aも必要である。
- ・[聞き取り方法] 会員さんに「悩みを教えてください」「気になっていることを教えてください」とメールで送り、返信があったものをまとめる。秋から冬にかけてイベント参加者が減ってくるので、部分的なQ&Aの公開も含めて、スピーディーに進めていきたい。聞き取りの際は、目的を明らかにすることに加えて、「誰に聞きたいか」を明らかにして応えてもらうといい。
- ・以上を踏まえ、年間スケジュールとしては、次回の第2回コア会議までに、できれば会員さんへの聞き取りを終わらせて、第2回コア会議で「A」のアイデア出しを中心に行っていきたい。「A」のアイデア出しにおいても、会員さんからの回答の意見交換に時間をとり、事務局から回答できることは準備しておく形で第2回コア会議を開催できるとよい。



グループワーク（Q&A班）



【チャレンジスペース班】…ラボハウス周辺と西口エントランス

- ・[ラボハウス周辺] 現状は、ジブリ利用者の休憩場所であったり、サトラボの活動者の拠点でもある。サトラボは作物を育てる場所であり、お米や野菜など自然環境に触れ合えるイベントが開催されている。
- ・[ラボハウス周辺] 現状を踏まえると、①昔ながらの遊びを取り入れた夏祭り ②現状行われている収穫のイベントや環境に触れ合えるイベントが周知できるようなきっかけづくり。常に開放して、ふらっと立ち寄った際に見たり、体験できる場所にすると自然を感じられるのではないか。③ジブリのエリアの中で気軽に自然に触れ合える限られた場所なので、自然・環境系の活動を行っている会員さんにアンケートで声かけをした上で可能性を聞いてみて、「やれる・やれない」を検討していけたらよい。
- ・[西口エントランス] 現状はバスや車の利用者の結節点になっている。また、水遊びやスケート、野球場の利用者が多くいて、ローカルな子供連れが多いのも特徴である。
- ・[西口エントランス] 現状を踏まえると、エントランス広場にはトイレや休憩所が近くにあるといった土地的な条件をいかして、エントランス広場をマルシェのようなイベント会場にしたら、イベント利用者もやりやすいのではないか。また、駐車場が近いので車に乗り込みやすく、買い物もしやすい位置にがあるので、帰宅前の方をターゲットにマルシェを開催できるとよい。ローカルな子供連れが多いので、子供向けの夏祭りや昔遊び、水遊びも検討できたらいいと思う。



情報提供

以下の情報提供がありました。

- 次回開催日程について（第2回コア会議）
2025年9月26日(金)14:00～16:00
- 会議後、チャレンジスペース（ラボハウス周辺と西口エントランス）の現地調査実施（自由参加）



お問い合わせ先



公園マネジメント会議 HP
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部

公園緑地課（協働グループ）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL : 052-954-6491 FAX : 052-961-5022

公益財団法人愛知県都市整備協会

愛・地球博記念公園管理事務所

〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1

TEL : 0561-64-1130 FAX : 0561-61-2150